

平成22年度 決算報告書

平成22年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	15,551	15,141	△410	(注1)
施設整備費補助金	990	1,046	56	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	576	1,805	1,229	(注3)
国立大学財務・経営センター				
施設費交付金	58	56	△2	(注4)
自己収入	25,794	26,943	1,149	
授業料、入学料及び検定料収入	6,052	6,338	286	(注5)
附属病院収入	19,136	19,759	623	(注6)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	606	846	240	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金				
収入等	2,701	3,817	1,116	(注8)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	170	155	△15	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	45,840	48,963	3,123	
支出				
業務費	38,211	38,292	81	
教育研究経費	21,890	21,515	△375	(注10)
診療経費	16,321	16,777	456	(注11)
施設整備費	1,218	1,257	39	(注12)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	576	1,805	1,229	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金				
事業費等	2,701	3,386	685	(注14)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	3,134	3,120	△14	(注15)
国立大学法人財務・経営センター				
施設費納付金	—	—	—	
計	45,840	47,860	2,020	
収入－支出	—	1,103	1,103	

○予算と決算の差異について

- (注1) 業務達成事業等による繰越のため、予算額に比して決算額が410百万円少額となっている。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため60百万円減少したものの、平成21年度補正予算繰越事業により116百万円増となったため、予算額に比して決算額が56百万円多額となっている。
- (注3) 各種補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,229百万円多額となっている。
- (注4) 財務・経営センターからの交付金が当初見込額より2百万円少額となっている。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数等の増に伴い、予算額に比して決算額が286百万円多額となっている。
- (注6) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮等を含め増収努力に努めたこと等により、予算額に比して623百万円多額となっている。
- (注7) 雑収入については、自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が240百万円多額となっている。
- (注8) 外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,116百万円多額となっている。
- (注9) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が15百万円少額となっている。
- (注10) 経費節減による減少並びに、人件費及び退職手当が当初見込額より減少したことにより、予算額に比して決算額が375百万円少額となっている。
- (注11) 診療収入の増収に伴う医薬品の増等により、予算額に比して決算額が456百万円多額となっている。
- (注12) (注2・注4・注9) に示した理由等により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっている。
- (注13) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,229百万円多額となっている。
- (注14) (注8) に示した理由等により、受入額が増加したため、予算額に比して決算額が685百万円多額となっている。
- (注15) 借入時期の変更により、予算額に比して決算額が14百万円少額となっている。